

## 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム 分科会実施計画書 2021年度

提案者名	株式会社 文化資本創研
提案テーマ名	『SDGs』×『文化』 ～京都文化から学ぶサステナビリティのカギ～

## 1. 分科会の概要

① 分科会の目的	世界で最も魅力的な大都市ランキング、コロナ禍で世界1位となった京都。 1,200年の歴史を持つ京都の文化・伝統からの学びを通じて、「サステナビリティ」の源泉となる企業・地域社会の「独自性・個性」（すなわち、『文化』）の再発掘・再構築すること
② 分科会で解決したい課題	1,200年の歴史を持つ京都の文化・伝統からの学びを通じて、 1. 長く続く組織の秘訣とその背景にある哲学・思想・価値観の理解 2. 個々の組織の「社会的存在価値」の再検討と「独自性・個性」の再発掘 3. 全参加メンバーによる「新たな日本の在り方」の定義と共同実践
③ 分科会のもとで行う具体的活動等	活動概要：「サステナビリティ」の源泉の再検討・再発掘のための京都文化から学ぶ研究会・シンポジウム・見学ツアーの実施。 実施頻度：隔月（予定）
活動1： サステナビリティ研究会	実施内容：サステナビリティ研究会 in Kyoto 京都に長い歴史がある秘訣の分析、京都の老舗経営者による組織の“在り方”勉強会、禅や茶道などの文化人による経営哲学の教えなど 年度内の実施回数（予定）：年2～3回 実施場所：京都（Web会議を併用）
活動2： SDGs経営シンポジウム	実施内容：SDGs経営シンポジウム in Kyoto 「老舗経営者」×「文化人」×「経済研究者」による「サステナビリティ」に関わる対話など 年度内の実施回数（予定）：年1～2回 実施場所：京都（Web会議を併用）
活動3： 大人のSDGs修学旅行～老舗見学ツアー～	実施内容：大人のSDGs修学旅行～京都老舗見学ツアー～ 「文化・伝統」×「EC」により新たな需要を発掘する企業ツアーなど 年度内の実施回数（予定）：年1回 実施場所：京都（コロナの状況によってはWeb会議を併用）
④ 期待される成果（アウトプット）	・個々の組織の「社会的存在価値」、すなわち、「強み」の再発見と再発掘
⑤ 資金・物資計画	・交通費・Web通信費・参加料：参加者負担 ・会場代：当社負担 ・講師等謝礼：原則当社負担、必要に応じて参加者負担の場合もある。

## 2. 参加メンバーへの期待

① 参加してほしいメンバー	『文化』の見直しを通じた『独自性・個性』の再構築に興味がある以下の団体など。 ・自治体（都道府県、市町村） ・企業（特に製造業、サービス業、農業、伝統産業、観光に関わる業種） ・NGO や NPO ・大学
② 想定しているメンバー数	10 団体～30 団体
③ メンバーへの期待	自身の組織の課題解決に加えて、30 年後子供たちが日本に生まれてよかったと思える社会を一緒に創ることに興味のある団体の参加を特に募集しております。

## 3. 実施スケジュール

	4・5 月	6・7月	8・9月	10・11 月	12・1月	2・3月	4月以降
全体			▲ 総会				▲ 次年度総会 成果報告
活動領域1： サステナビリティ 研究会			▲		▲	▲	
			サステナビリティ研究会（年2～3回、京都及び Web 会議で開催予定）				
活動領域2： SDGs 経営シ ンポジウム				▲	▲		
			シンポジウム（年1～2回、夏及び冬ごろ開催予定）				
活動領域3 老舗見学ツア ー							▲
			京都老舗見学ツアー（冬ごろ開催予定）				
その他	—————					▲	
						年次活動報告書の提出 （2月末）	

#### 4. その他特記事項

① その他特記事項	
-----------	--

#### 5. 連絡窓口

団体名	株式会社 文化資本創研
部署	
担当者名	小林 孝嗣
電話番号	050-3700-6901
メールアドレス	post@bunkashihon.jp